

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和2年10月19日

公表:令和2年12月28日

事業所名 児童発達支援事業 どんぐり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		ひとつの部屋に集中しないよう個々のスケジュールを工夫している。ソーシャルディスタンスを保つために、パーティションや足型を使用している。	自由あそびの部屋に集中してしまうことがあるため、引き続き個々のスケジュールの組み方を確認し、改善をしていく。
	2 職員の配置数は適切である	○		適切である。密にならないように配慮もしている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		活動によって場所を変えて行っている。必要に応じてパーティションでスペースを区切る、顔写真を貼るなどして本人に分かりやすいように工夫している。室内はクッション材やじゅうたんを用いて段差をなくすよう工夫している。	トイレや玄関のバリアフリー化が課題。現在は必要に応じて職員や保護者が介助し、安全に運営できるように配慮している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		活動室とあそぶ場所を分けている。あそぶ部屋に絨毯を敷き、心地よく過ごせるよう工夫している。コロナ対策と、清潔を保つため、使用したものを消毒している。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		意向を職員間に周知し、業務改善につなげている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		コロナ対策のためZOOMで行えるよう工夫している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者にアンケートを記入して頂き、ニーズや課題を抽出。子供の興味関心も取り入れて作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		必要に応じて臨床発達心理士等が発達検査や知能検査をとり、その結果を活用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		打ち合わせで児童発達支援計画を職員間で確認している。また事業所独自の評価シートに毎回保護者が計画目標を記入し、目標に沿った取り組みを意識して参加できるように工夫している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員会議で話し合っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		静と動の活動を交互に取り入れたり、季節を意識したりして工夫をしている。新しい活動も取り入れているが、あえて同じ活動を取り入れて、繰り返し行う経験を積むことができるように工夫している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	16	○		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している		
	17	○		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		
	18	○		支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		
	19	○		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証改善につなげている		
	20	○		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している		
関係機関や保護者との連携	21	○		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		
	22	○		母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		
	23			(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	対象児がいない	
	24			(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	対象児がいない	
	25	○		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	必要に応じて保育園や幼稚園への訪問や、電話などで情報交換をしている。	
	26	○		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	必要に応じて小学校への訪問や電話などで情報交換をしている。保護者には小学校に向けて支援シートⅠや『かけはし』の作成に向けての支援を行っている。	
	27	○		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		
	28	○		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	幼稚園等の職員の見学を受け入れたり、こちらから職員が訪問したりして職員交流を行っている。	利用児は保育所や幼稚園などと併行して通っているため、日頃から障害のない子どもと関わっている。よってこのような機会を充分得ていると判断している。
	29		○	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	現在は法人内の他の事業所の職員が参加している。	
	30	○		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回支援中に保護者と情報交換をする時間を設け、共通理解に努めている。お便り帳も活用している。	
31	○		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	個々に応じて保護者の対応力の向上を図ることができるよう支援を行っている。コロナ対策で、講座等の開催に制限があり、必要に応じて、本を貸し出すなどで補うことができるよう工夫している。		
32	○		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	契約時に契約書、重要事項説明書を用いて説明している。		
33	○		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		毎回支援中に保護者と面談する時間を設け、相談に応じ、支援の方法と一緒に考えている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			コロナ禍で計画はしていても開催に至っていない。ニーズも高いため、開催方法も検討中。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付先も契約時に説明、玄関にも張り出している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月の予定表に必要な情報を載せて発信している。会報については法人で発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報の提供について契約時に保護者に同意を得て取り扱いに注意している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的に提示、肯定的に伝えるなど個々に配慮している。保護者から話を伺うときは子どもに聞こえないよう配慮している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			法人主催の松風園祭りを毎年実施。今年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルは閲覧できるよう設置している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		子どもや保護者との避難訓練は事前に紙芝居などでやり方を視覚的に伝えるなど工夫している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		確認している。親子グループのため、急な体調不良にも保護者と一緒に対応できる状況にある。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師の指示書の提出はないが事前に保護者に食物アレルギーの確認をし、提供しないようにしている。	コロナ禍にあり、現在はお茶、おやつの提供を控えている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例、対応、改善策、再発防止について、記載し職員で共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に説明して同意を得ている。身体拘束を行う事例がなく、児童発達支援計画には記載していない。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和2年12月28日

アンケート期間: 令和2年9月3日～令和2年9月30日

事業所名 児童発達支援事業 どんぐり

保護者等数(児童数) 29 回収数 29 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	2	0	1	コロナ対策で自由遊びの部屋がパーテーションで仕切られて、狭く感じる。	自由遊びの部屋のパーテーションは現在使用せず、広く使えるよう配慮している。体温、体調の確認、手指消毒、マスク着用、換気などのコロナ対策は引き続き徹底していく。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	27	2	0	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	28	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	27	1	0	0		
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	28	1	0	0		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	27	0	0	2		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	27	0	0	2		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	25	1	0	3	毎回違う活動が行われるので、子どもも「今日の活動はなに」と楽しみにしています。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12	2	7	8	通っている幼稚園で接しているのですが、あえて交流がなくてもいいです。	保育園や幼稚園などでこのような機会を充分得ていると判断しこのような機会を作っていないことを保護者に周知していく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	2	0	0	コロナで規定を各自読む対応などで難しいと思う。	コロナ対策で全てを丁寧に時間を要して説明することは避けた。契約時以外でも必要に応じて説明を加えていきたい。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	27	1	0	1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	23	3	0	2		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	29	0	0	0		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	0	0	0	毎回の面談で適切なアドバイスを頂いています。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	7	5	3	コロナ禍で仕方ありませんが、保護者同士で話ができる場を設けられたらありがたいと思います。	年間4、5回開催予定だった懇談会がコロナ対策のため実施できていません。現在、実施する方法を模索中。前向きに検討していきたい。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	29	0	0	0		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	0	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24	2	1	2		
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	28	0	1	0			
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	24	0	1	4		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	2	1	5	苦手なことがいろいろと違う中で、対応して訓練するのが難しい。	個々の特性に応じた訓練の仕方を今後も考えて実施していきたい。職員対象の訓練も引き続き実施していく。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	26	2	0	0	とっても楽しみにしています。今まで一度も行くのを嫌がったことがありません。	
	23	事業所の支援に満足しているか	26	2	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和2年10月19日

公表: 令和2年12月28日

事業所名 児童発達支援事業 どんぐり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			必要に応じてパーティションで区切り適切なスペースを確保できるように工夫をしている。 座席の間隔をあけるなどしてコロナ対策にも配慮している。
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			室内をクッション材を用いて段差をなくすよう工夫をしている。トイレや玄関などのバリアフリー化は課題であるが、現在の利用児に対しては適切である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			意向を職員間で周知し業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			コロナ対策のため、ZOOMで行えるようにしている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者にアンケートを記入いただきニーズや課題を共通理解し、作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			必要に応じて、臨床発達心理士等が発達検査や知能検査をとり、その結果を活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			年間計画を作成し、調理、制作、外出、運動、ゲーム、季節を意識した活動で組み立てている。 コロナ対策のため、調理、外出を控え代替プログラムにて実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している			○	休日は営業していない。多機能型のため、長期休暇時も時間延長等難しい状況。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			放課後等デイサービス計画や前回の記録を用いて打ち合わせを行っている。記録用紙に「次回に向けて」という欄を作り、確認しやすいよう工夫している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている			○	必要に応じて個々のケースについて学校との情報共有はしているが、保護者が送迎しているため、下校時刻の確認等については学校には行う必要がないことが現状。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			現状は医療的ケアが必要な子どもがいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			必要に応じて行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			より充実した支援を提供することができるよう小学4年生になったら、同法人の他事業所へ移行するため、当事業所には卒業する者はいない。必要な場合は提供する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	交流や一緒に活動する機会は設けていないが地域生活への参加を見据えて日々支援にあたっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○	現在は法人内の他の事業所の職員が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や面談にて情報交換し共通理解に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			個々に応じて保護者の対応力の向上を図ることができるよう支援している。コロナ対策で講座等の開催に制限があり、必要に応じて本の紹介や貸し出しをしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			送迎時に保護者と情報交換し、悩みや困り感を共有。必要に応じて面談を実施している。また電話相談も受けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			コロナ禍で計画はしていても開催に至ってはいない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情受付先を契約時に説明。玄関にも張り出している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			法人の会報を設置したり、ホームページに情報を載せたりしている。
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報の提供について契約時に保護者の同意を得て取り扱いに注意している。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			視覚的に提示、肯定的に伝えるなど個々に配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			法人主催で松風園まつりを実施。今年度は、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			マニュアルは見えるところに設置し、いつでも確認できるようにしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			子どもと行う避難訓練の場合は事前に紙芝居などで取り組み方を視覚的に伝えるなど工夫している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			契約時に説明して同意を得ている。身体拘束を行う事例がなく、放課後等デイサービス計画には記載していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			医師の指示書の提出はないが、事前に保護者に食物アレルギーの確認をし、提供しないようにしている。コロナ禍にあり、現在はお茶の提供及び、調理実習を控えている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事例、対応、改善策、再発防止などについて記載し、職員で共有している。



保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表) 令和元年度

公表: 令和2年12月28日

アンケート期間: 令和2年9月3日～令和2年10月6日

事業所名 児童発達支援事業 どんぶり

保護者等数(児童数)77 回収数61 割合79%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	記入無 し等	主なご意見(抜粋)
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	58	3	0	0	少人数での活動なのでスペースが確保されているように思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	61	0	0	0	少人数での活動のため、十分な人数です。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	45	9	2	5	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	61	0	0	0	支援計画書を作成して頂いています。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	58	3	0	0	コロナ禍の中でやれることが限られていますが、活動して頂いているので助かります。いろいろな工夫して頂き、感謝しております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	19	11	13	18	必要性を感じません。活動に参加したことがない特に不満はない
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	61	0	0	0	契約の際に説明されています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	61	0	0	0	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	61	0	0	0	育児に関して困ったり、悩んだりしているときに安心して相談できます。親身になって相談に乗ってくれる。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	34	13	3	11	感染対策のため、現時点では行われていませんが、予定はされています。コロナの為仕方ないと思います。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	53	3	0	6	苦情を伝えたことがないし、言われているところを見たことがない。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	60	0	0	1	活動終了後に伝えていただいている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	52	4	0	5	あまりちゃんと見ていないため、すいません。
14 個人情報に十分注意しているか	61	0	0	0		
非常 時 等 の 対 応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	56	2	0	3	契約時に説明されました。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	49	4	1	7	1年間に一度は行われると思います。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	60	1	0	0	いつもとても楽しみにしています。
	18 事業所の支援に満足しているか	60	2	0	0	大変満足です。困ったときに相談すると必ず対応して下さるので「困ったらまた相談しよう」という安心感を頂いています。コロナ禍の中で運営して助かっています。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。